

令和5年度 事業報告

特別養護老人ホーム 親孝行の里

【基本取組】

- 法人の理念、特養の事業目標を念頭に、各職が自身の役割を認識しながら、入居者本位のサービスを提供する事で、入居者が安心して生活しながら、余暇活動を楽しむ環境をつくる事が出来た。
- 新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行した事により、感染症対策を講じながら対面での面会（予約制）を再開。入居者と家族の関りや、家族と職員のコミュニケーションを図る機会を確保できた。
- 地元の移動スーパーの利用や外出行事などを通して社会資源を活用し、入居者が地域との繋がりを保ち続けられるよう支援する事が出来た。
- 年間予定通りの特養内研修を実施し、職員、サービスの質の維持向上に努める事が出来た。

【入居者の状況】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
男	300	332	330	341	341	330	335	287	310	338	304	297
女	1417	1419	1404	1392	1424	1391	1449	1410	1447	1445	1367	1478
計	1717	1751	1734	1733	1765	1721	1784	1697	1757	1783	1671	1775
入院数	15	41	40	65	24	0	14	43	31	12	5	3
前年度	1702	1759	1725	1766	1714	1706	1758	1658	1735	1737	1585	1781
増減	15	-8	9	-33	51	15	26	39	22	46	86	-6
稼働率	98.7	97.4	99.7	96.4	98.2	98.9	99.2	97.5	97.7	99.2	99.3	98.7

年間平均稼働率 98.4

【入退居の状況】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入居	男	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	1	1	0	2	2	0	0	1	1	3
	計	0	2	1	0	2	2	0	0	1	1	3
退居	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	女	1	1	1	0	2	2	0	0	1	1	0
	計	1	1	1	0	2	2	0	0	1	1	3

【退去事由】	在宅復帰	1	長期入院	0	死亡	12
--------	------	---	------	---	----	----

【入居者の要介護状態】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要介護1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護3	9	8	9	9	9	9	10	10	10	7	6	6
要介護4	18	18	20	19	18	17	18	17	17	19	21	21
要介護5	31	32	29	30	31	32	30	31	31	32	31	31
平均	4.38	4.41	4.34	4.36	4.38	4.40	4.34	4.36	4.36	4.43	4.43	4.43
前年度	4.41	4.41	4.40	4.38	4.43	4.41	4.43	4.43	4.45	4.41	4.38	4.40

年間平均介護度 4.3

【入居申し込み状況】

	前年度末	新規申込数	申込辞退	至入居	当年度末
計	5	18	7	6	9

【年間行事】

月日	内容
6月7日	外出行事(赤堀しょうぶ園)
7月5日	外出行事(ジョイフル本田)
9月2日	入居者胸部レントゲン
10月4日	外出行事(スマーク、ジョイフル本田)
10月11日	さんま焼き
11月8日	外出行事(小菊の里)
3月6日	避難訓練

【法人内研修】

月	研修内容
8月	権利擁護

【特養内研修】

月	研修内容
5月	感染症対策(食中毒)
6月	事故対策(緊急時対応)
7月	褥瘡/口腔ケア/移乗対策
8月	身体拘束廃止/虐待防止
9月	BCP(感染症)
10月	事故対策
11月	感染症対策(コロナ、インフル等)
12月	身体拘束廃止/虐待防止
1月	看取り介護
2月	医療的ケア対策
3月	BCP(災害)

【実習生受け入れ状況】

会社・学校名	人数
プライマリー	2
太田高等特別支援学校	0
太田医療技術専門学校	0

● 基本取組

① 自立への支援

ご利用者の出来る能力や意欲を活かし、個別活動、レクリエーション活動を実施した。各グループでの活動においても個々の特性や出来る能力を活かしたのではないかと評価している。個々の現存能力を見極め、生活リハビリを意識した支援を実施。月ごとに体操内容を変化させた企画を立て実施出来た。心身活動プログラムでは、もたらず効果を意識し提供する事が出来た。全体的な活動の評価として感染症対策に注力しながらも出来る範囲での活動を工夫し実施する事でご利用者の利用への満足度を高める事ができた。

② 個別ケアの充実

グループの編成を実施。引き続き、4グループに編成を行い、各グループ活動において、運動班、環境班、レクリエーション班、脳トレ班に効率良く分散した。グループ活動の中では個別ケア、グループ活動を意識して行った。月に1度グループごとに評価を行う事により、グループ活動を見直した。グループ活動を通して引き続き対人援助技術や処遇面、サービス全体の質を高める事を意識し活動を行った。新型コロナウイルス感染症5類に引き下がった後も継続的に警戒中。活動をする際にはテーブル上に高いパーテーションを完備。1年通してグリーンアクア噴霧器にて薬液を噴霧し飛沫感染警戒、エビシノ奴メナ

③ 職員の資質向上

事業所内研修を中心に実施し、職員の質を上げていくよう工夫した。特にご利用者へのサービス向上に繋がるよう、処遇面には今期も力を入れた。また各種情報の収集に努め、必要な知識、サービス向上に繋がる情報等を入手できるよう努めた。自ら調べた上で研修を開催し、勉強や情報収集に努めた。その上で、会議、施設内研修ショートレクチャー等を活用し、事故防止や身体拘束、権利擁護等の学習、周知を行う事でサービスの向上に繋げた。

稼働日 25=750 26=780 27=810

● 利用者の状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
稼働日数	25	27	26	26	27	26	26	26	26	26	25	26	312
延利用者受入人数	750	810	780	780	810	780	780	780	780	780	750	780	9,360
延利用者数	655	717	699	666	644	683	693	674	678	669	658	721	8,157
稼働率	87.3%	88.5%	89.6%	85.4%	79.5%	87.6%	88.8%	86.4%	86.9%	85.8%	87.7%	92.4%	87.2%
平均利用者人数	26.2名	26.6名	26.9名	25.6名	23.9名	26.3名	26.7名	25.9名	26.1名	25.7名	26.3名	27.7名	26.2名
前年度利用者数	689	705	680	632	592	663	660	642	665	551	384	687	7,550
増減	-34	12	19	34	52	20	33	32	13	118	274	34	607

● 利用者の要介護状態及び対前年度利用者数比

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
介護1	208	243	246	251	223	243	234	238	239	240	219	227	2,811
介護2	128	130	137	115	114	112	121	101	102	109	123	137	1,429
介護3	95	103	95	114	115	113	111	106	99	95	85	90	1,221
介護4	21	22	31	31	32	31	29	30	30	29	30	30	346
介護5	62	69	59	44	56	52	60	57	60	59	52	60	690
平均介護度	2.2	2.2	2.2	2.1	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2
計	514	567	568	555	540	551	555	532	530	532	509	544	6,497
当年度	514	567	568	555	540	551	555	532	530	532	509	544	6,497
前年度	535	525	518	497	441	493	497	509	560	489	397	515	5,976
増減	-21	42	50	58	99	58	58	23	-30	43	112	29	521

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援1	50	60	58	54	64	71	62	58	62	55	44	56	694
要支援2	91	90	73	57	40	61	76	84	86	82	105	121	966
計	141	150	131	111	104	132	138	142	148	137	149	177	1,660
当年度	141	150	131	111	104	132	138	142	148	137	149	177	1,660
前年度	131	136	136	118	103	133	136	132	125	112	85	149	1,496
増減	10	14	-5	-7	1	-1	2	10	23	25	64	28	164

● 新規利用者数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護者	0	4	3	0	1	1	2	1	0	1	0	0	13
要支援者	1	1	1	0	1	0	0	1	0	2	2	0	9

● 年間行事等

月	行事内容等	備考
4	桜見学, 昼食づくり(すいとん), おやつづくり(みたらし団子)(ホットケーキ)	避難訓練 年間2回実施
5	端午の節句(寸劇), おやつづくり(草団子)(じり焼き), 昼食作り(肉じゃが)	
6	野点, 昼食づくり(鮭のちゃんちゃん焼き), おやつづくり(豆腐白玉ぜんざい)(どらやき)	
7	七夕, おやつづくり(あじさい)(フルーツ白玉)(あんみつバイキング)	
8	おやつづくり(あんみつバイキング)(ところてん)(お好み焼き)	
9	縁日、敬老会、おやつづくり(おぼろ)(じゃが芋もち)(月見だんご)	
10	かかし祭り見学, 運動会, 昼食づくり(筑前煮), おやつづくり(五平餅)	
11	炭火焼き芋づくり, おやつづくり(ゆで饅頭)(お好み焼き)	
12	クリスマスイベント, 昼食づくり(煮込みうどん), おやつづくり(クリスマスケーキ)	
1	かかし芸大会, おやつづくり(おやき・お好み焼き・ホットケーキ)	
2	太田市福祉文化祭見学, 昼食づくり(恵方巻), おやつづくり(チョコレートフォンデュ)	
3	おやつづくり(桜餅)(ぼたもち) 昼食作り(筑前煮)	

● 各委員会・会議・訓練等の開催状況

各委員会・会議名	内容等	開催数
通所介護事業所会議	介護の質・サービスの質についての検討、事故・ひやりはっとの集計・分析・検討、苦情・要望に対しての検討・改善、感染予防に向けての取り組み、事業所運営に関する検討	6

● 実習生受け入れ状況

依頼先	人数	期間	備考
東京福祉大学	2	3月1日	地域包括支援センター実習
東京福祉大学	1	3月2日	地域包括支援センター実習

● ボランティア受入状況

月日	団体名	人数	ボランティア内容
なし			

● 各研修の状況

施設内研修

月日	研修内容等	参加人数
5月24日	従業者に対する認知症及び認知症ケアに関する研修	10
5月31日	高齢者のための食中毒(書面開催)	10
7月26日	事故の発生等緊急時の対応に関する研修	10
9月13日	利用者のプライバシー保護の取り組みに関する研修	10
9月30日	群馬県感染症対策連絡協議会ICN分科会 感染対策研修(書面開催)	10
11月22日	倫理及び法令遵守に関する研修	10
1月18日	身体的拘束等の排除のための取り組みに関する研修	9
3月13日	・BCP事業継続計画、非常災害の対応に関する研修	10

施設外研修

月日	研修内容等	参加人数
4月10日	啓発部会会議	1名
4月19日	認知症地域支援推進員会議	1名
5月17日	認知症地域支援推進員会議	1名
6月14日	家族講座	1名
6月21日	認知症地域支援推進員会議	1名
7月19日	認知症地域支援推進員会議	1名
8月16日	認知症地域支援推進員会議	1名
8月30日	家族講座	1名
9月20日	認知症地域支援推進員会議	1名
10月18日	認知症地域支援推進員会議	1名
10月25日	家族講座	1名
11月15日	認知症地域支援推進員会議	1名
11月22日	家族講座	1名
12月20日	家族講座	1名
12月20日	認知症地域支援推進員会議	1名
1月17日	認知症地域支援推進員会議	1名
2月21日	認知症地域支援推進員会議	1名
3月18日	認知症地域支援推進員会議	1名

居宅介護支援事業所 親孝行の里

● 基本取組

①ケアマネジメントの充実

主任ケアマネ更新研修を行い、マネジメントのポイントを学ぶ。新任ケアマネも入職したため、指導や助言によりマネジメントが行えるようにしている。お互いが向上していくようにしていく。介護保険制度の改正もあり準備を行う。介護サービス事業所も増えて、対応する事業所の特色を考慮し適切なサービス利用が行えるように対応する。事例検討により、すこしでもケアマネの負担が軽減するように対応する。

②社会資源の活用

地域包括、民生委員、ふれあい相談員と連携し、利用者の支援を行う。困難事例もあるため時間をかけて対応することもあった。行政への働きかけも行う。解決に向けて対応しているが、思ったように進まないこともある。社会資源を開発することも求められているため今後の課題である。

③職員の資質の向上

法人内研修、法人外研修を行う。主にケアマネジメントの対応が主体であるが研修を行うことで質の向上を行う。ZOOMの対応により、時間的に余裕ができて、業務に対しても支障が少なくなっている。今後、ICTの活用が進んでくると思うので対応ができるように職員の質を上げていくことが必要である。

● ご利用者の状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
介護	111	118	123	125	126	122	125	125	127	129	126	130	1487
前年度	132	133	130	126	125	126	121	120	119	120	117	117	1486
増減	-21	-15	-7	-1	1	-4	4	5	8	9	9	13	1

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
予防	12	12	10	10	11	12	11	11	11	10	10	10	130
前年度	14	11	11	11	11	11	11	11	13	12	13	13	142
増減	-2	1	-1	-1	0	1	0	0	-2	-2	-3	-3	-12

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
総合	6	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	5	51
前年度	5	6	6	6	7	7	7	6	6	5	4	4	69
増減	1	-2	-2	-2	-3	-3	-3	-2	-2	-1	0	1	-18

介護給付

新規契約者	
男性	15
女性	23
計	38

契約解除者	
男性	14
女性	22
計	36

介護予防

新規契約者	
男性	1
女性	1
計	2

契約解除者	
男性	4
女性	0
計	4

総合事業

新規契約者	
男性	1
女性	0
計	1

契約解除者	
男性	0
女性	0
計	0

● 各研修及び事例検討会等の状況

施設内研修

月日	研修内容等	参加人数
5月22日	感染症研修 書面開催 「食中毒について 予防・対策」	4名
8月30日	職員研修 「LGBT/SOGI 福祉関係者が知っておくべきLGBTQの知識」	4名
10月27日	感染症研修 書面開催 「コロナウイルス・インフルエンザ・ノロウイルスについて」	4名

施設外研修

月日	研修内容等	参加人数
5月12. 16. 23日	主任介護支援専門員更新研修	1名
5月1. 15. 20. 22	主任介護支援専門員更新研修	1名
8月10日	個別避難計画と事業継続計画	1名
12月14日	アルコール依存の正しい対応方法	4名
2月1日	介護認定調査員標準化研修	4名
3月1日	認定調査員現任オンライン研修	4名
3月15日	令和5年度 指定居宅介護集団指導 書面開催	4名

訪問介護事業所 親孝行の里

● 基本取組

①利用者様処遇

ご利用者の生活状況やニーズや要望、介護の状況などを把握し要望に沿った適切なサービスが提供できるよう支援に努めました。今後ご利用者のニーズや要望の把握に努め、より良いサービスが提供出来るよう内容の見直しなども随時行っていききたいと思います。

②職員の質の向上

新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、動画や書面での研修もまだありますが、会議などで意見交換をする機会も作ることが出来ておりご利用者の気になる事や気付いた点などについて話し合う事が出来ました。今後も研修や会議などを通して質の向上に努めていききたいと思います。

③関係機関との連携

訪問時の状況について何か変化あればその都度報告し各関係者との情報共有及び連携に努めました。担当ケアマネには実績と共に1ヶ月の様子を報告しています。今後も各関係機関と連携を図り、適切なサービスが行えるよう努めていききたいと思います。

● ご利用者の状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護	23	22	23	21	20	20	20	21	23	23	22	23	261
前年度	24	25	24	27	27	24	24	22	25	23	25	24	294
増減	-1	-3	-1	-6	-7	-4	-4	-1	-2	0	-3	-1	-33

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援	9	10	9	9	10	10	10	10	10	10	10	11	118
前年度	12	9	9	11	11	11	10	11	10	10	10	10	124
増減	-3	1	0	-2	-1	-1	0	-1	0	0	0	1	-6

● 新規利用者数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護	0	1	0	1	0	2	1	1	1	0	0	1	8
要支援	2	0	0	2	0	0	0	0	1	0	0	1	6

● 各研修会等の状況

日時	研修内容	人数
4月	虐待の防止	8
5月	高齢の方のための食中毒予防	7
6月	事例から学ぶBPSDとチームケア	1
6月	ひやりはっと	7
7月	事故の発生予防・事故の発生等緊急時の対応	6
8月	LGBTQについて	7
9月	認知症ケア	6
9月	種々の皮膚トラブルの対処方法	2
10月	感染防止対策の基本	7
11月	冬型栄養失調と在宅訪問栄養管理について	1
11月	在宅で知ってほしい皮膚病7選	1
1月	ハラスメントについて	6
1月	糖尿病の基礎知識について	2
3月	認知症予防をどのように取り組むか	1

ケアハウス さわやか 事業報告書 【令和5年度】

● 基本取組

① 自立支援と健康管理

入居者が自立し、コロナ禍の中、新しい生活様式で健康に過ごせるように、機能低下の防止や健康維持増進の為様々な情報提供や援助、助言を行えるように努め、地域社会の動向に合わせたコロナ感染予防対策を行った。

② 趣向を凝らした余暇活動

令和4年度も、年度初めより世界的なコロナウイルス感染流行の為、行政が推奨する感染予防対策や施設独自の対策を実施、推奨して頂けるよう努め、クラスターを避ける為にレクリエーション、余暇活動は殆んど取り行うことが出来なかった。コロナ感染症終息後は、ご利用者様が主体的に企画、立案、実施が行えるような環境作りを整える様努めて行きたい。

③ 地域交流の推進

コロナウイルス感染拡大防止の観点から地域の活動は中止や延期になり、地域交流会等の推進は行えず、地域からのお便り配布に留まった。コロナ感染症終息後は、積極的に地域交流できるよう努めて行きたい。

● ご入居者の状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入居者数	28	27	27	27	27	28	28	28	28	28	27	26	319
稼働率	93.3	90.0	90.0	90.0	90.0	93.3	93.3	93.3	93.3	93.3	90.0	86.7	88.6
前年度	25	25	25	26	26	26	26	28	29	29	27	27	319
増減	3	2	2	1	1	1	1	2	1	-1	0	-1	

● 入退居の状況

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
入居	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	女	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	
	計	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	
退居	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	
	女	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	
	計	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	
新規入居者の前住居状況														
				太田市		名								
				桐生市		名								
				その他		2名								
退居の主な理由等														
				親里特養		名		介護付施設		2名		死亡		0名
				在宅		名		病院		名				

● 問い合わせ及び施設見学等の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
問合せ	2	0	3	2	0	1	1	0	0	0	0	2	11
見学	1	0	3	0	0	2	1	1	0	1	0	0	9
申込	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	3
みんなの介護	0	2	1	0	2	2	1	1	0	2	0	0	11

● 各種支援等の状況

支援内容	実施回数
買い物ツアー	10
とくし丸買い物	103
外食ツアー	0
花見会	0
忘年会	0
福祉文化祭	0
介護予防教室	0
理美容	12

● 各委員会・会議・訓練等の状況

内容等	回数
感染症対策委員会	4
事故対策委員会	3
相談員研修会	
軽費担当者会議	15
軽費事業所会議	12
防災・避難訓練	2

令和5年度 藪塚地域包括支援センター 事業報告

基本取組

①包括的・継続的ケアマネジメント

自立支援に資するケアマネジメント支援、包括的・継続的なケア体制の構築、介護支援専門員に対する日常的個別指導・相談、地域の介護支援専門員が抱える支援困難事例等への指導・助言といった、後方支援を実施した。

また、地域における介護支援専門員の資質向上やネットワーク構築を目的とした、介護支援専門員勉強会を独自に開催した。

②介護予防普及啓発事業の取組

介護予防教室については、運動機能維持向上のための体操のほか、認知症予防、口腔・栄養指導などを中心に実施。初めて午前午後の2部制での開催やe-スポーツを取り入れるなど、参加者に興味関心を抱いていたような内容での事業を展開した。

また、新型コロナウイルス感染症が5類へ移行したこともあり、開催回数も前年度(20回)から32回に増やした。うち、3回は社会福祉協議会が行う「お茶の間カフェ」からの依頼により講師派遣を行い実施した。

介護予防把握事業については、閉じこもり等の何らかの支援を要する者を早期に把握することにより、住民主体の介護予防活動や介護予防教室、介護保険の申請やサービス支援など必要な支援等へつなげ、高齢者の介護予防に資することを目的に実施した。

③地域包括ケアシステムの構築

地域包括ケアシステム構築のための国が指針により推進されている、市の「生活支援体制整備事業」へ参画。地域の多様な特性を活かしながら住民が主体となって高齢者を支えていくことができる仕組みを考え、各事業へ参加した。

相談事業では、高齢者が住み慣れた地域で安心して自立した生活を継続していくことができるようにするため、高齢者及び家族にどのような支援が必要かを把握し相談を受け、地域における適切なサービス、関係機関及び制度の利用につなげる等の支援を実施した。

● 相談件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
電話	29	26	33	28	22	38	33	46	45	56	40	36	432
来所	3	3	3	6	5	8	6	3	5	7	3	7	59
訪問	17	16	16	10	13	21	23	41	23	33	38	31	282
他	0	0	0	1	0	1	3	0	0	1	1	2	9
計	49	45	52	45	40	68	65	90	73	97	82	76	782

● 要介護認定・要支援認定 代行申請数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数	8	8	16	14	9	17	13	4	13	10	6	6	124

● 介護予防把握事業 訪問件数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数	9	12	14	5	8	16	14	13	11	18	13	13	146

● 計画書作成数(直営)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数	50	53	52	53	54	55	55	61	65	65	62	61	686

● 計画作成数(介護予防支援費)*委託分含む

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数	82	83	84	88	85	86	86	90	95	92	85	89	1045

● 計画作成数(総合事業費)*委託分含む

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数	55	58	54	55	54	55	57	55	54	53	57	60	667

● 介護予防教室

種別	回数	開催日	会場	内容	参加者
単発 開催	1	4月20日	藪塚本町文化ホール	セルフトレーニングで体を整えましょう	30
	2	4月27日	藪塚本町文化ホール	シニアの挑戦！ 椅子に座ってヨガ	23
	3	5月11日	藪塚本町文化ホール	シニアの挑戦！ 椅子に座ってヨガ	22
	4	5月18日	藪塚本町文化ホール	行って・おしゃべり・みんなで運動しよう	30
	5	6月8日	藪塚本町文化ホール	口腔ケアの実際	25
	6	6月22日	藪塚本町文化ホール	知ってトク 熱中症対策	21
	7	7月20日	藪塚本町文化ホール	そなえておこう 筋力を！	21
	8	8月24日	藪塚本町文化ホール	実は知らなかった健康と薬の話	26
	9	8月31日	藪塚本町文化ホール	笑って楽しい 脳トレーニング	26
	10	9月7日	藪塚本町文化ホール	体操・脳トレ・レクリエーション	25
	11	9月21日	藪塚本町文化ホール	脳を若返らせて認知症を予防しよう	30
	12	10月13日	藪塚本町文化ホール	認知症を理解～考え方、接し方を学ぼう～	15
	13	10月27日	藪塚本町文化ホール	からだどこころを動かして、脳を活性化	16
	14	11月9日	藪塚本町中央公民館	簡単！足つぽマッサージ	10
	15	11月16日	藪塚本町文化ホール	シナプソロジー	17
	16	11月22日	藪塚本町文化ホール	シニアの発生と呼吸について	22
	17	12/5(午前)	藪塚本町中央公民館	e-スポーツ「太鼓の達人」で脳を活性化	8
	18	12/5(午後)	藪塚本町中央公民館	e-スポーツ「太鼓の達人」で脳を活性化	8
	19	12月12日	藪塚本町文化ホール	みんなで楽しく認知症予防	16
	20	12月21日	藪塚本町文化ホール	食善く(しょくよく)講座	21
	21	1月11日	藪塚本町文化ホール	認知症を理解～考え方、接し方を学ぼう～	16
	22	1月12日	大久保公民館	ストレッチについて	16
	23	1月24日	藪塚本町文化ホール	コグニサイズで脳を活性化	20
	24	1月26日	大久保公民館	健康と介護予防体操	16
	25	2/8(午前)	藪塚本町文化ホール	3B体操～基礎編～	12
	26	2/8(午後)	藪塚本町文化ホール	3B体操～応用編～	14
	27	2月9日	大久保公民館	フレイル予防について	14
	28	2月29日	藪塚本町文化ホール	「美味しく食べる」を支える健口体操を学ぼう	15
	29	3月14日	藪塚本町文化ホール	転倒しない体づくり	19
連続 開催	1	10月5日	藪塚本町文化ホール	いつでもどこでも誰もが運動！①	28
	2	10月12日		いつでもどこでも誰もが運動！②	29
	3	10月20日		いつでもどこでも誰もが運動！③	27

● 地域ケア会議

種別	開催日	会場	内容	参加者
個別*1	2月26日	藪塚本町中央公民館	認知症を有する母親と精神疾患を有する娘に対する、成年後見制度活用を見越した金銭管理についての検討	8
自立支援型*2	7月20日	テクノプラザおおた	日中から飲酒される、ケアハウス入居者に対しての自立支援に向けた支援について	14

*1 ケアマネジャーや関係機関が支援に困難を感じているケース、自立に向けた支援が難しいケース、あるいは地域の課題だと考えられる問題を抱えるケースを取り上げ検討する会議

*2 要支援者の自立を阻害している要因を探し、自立支援・重度化防止に向けた支援方法を多職種で検討する会議

● 地域包括支援センター主催事業

開催日	会場	内容	参加者
7月13日	藪塚本町中央公民館	介護支援専門員勉強会 『障がい者を支援するうえでの「困った！」「どうしよう…」をやさしく解説～身体障がい者編～』	34
12月14日	藪塚本町中央公民館	介護支援専門員勉強会 『アルコール依存～正しい対応方法とは～』	16
2月21日	藪塚本町文化ホール	認知症サポーター養成講座	25

● 会議への参加

月日	内容等	参加者
5月9日	グループホームアルプス 運営推進会議	1
5月29日	太田市成年後見協議会	1
6月27日	藪塚本町地区生活支援体制整備事業会議	1
7月11日	グループホームアルプス 運営推進会議	1
8月7日	認定看護管理者「総合演習Ⅱ」実習説明会	1
9月5日	藪塚本町地区生活支援体制整備事業会議	1
9月12日	グループホームアルプス 運営推進会議	1
11月15日	藪塚本町地区生活支援体制整備事業会議	1
12月5日	東毛敬愛病院連携協議会	1
12月12日	グループホームアルプス 運営推進会議	1
2月4日	藪塚本町地区生活支援体制整備事業会議	1
2月2日	太田市成年後見協議会	1
3月12日	グループホームアルプス 運営推進会議	1

● 各研修の状況

・法人内研修

月日	研修内容等	参加者
8月30日	福祉関係者がしておくべきLGBTQの知識	3
5月	食中毒について(書面)	3
11月	感染症について(書面)	3

・事業所外研修

月日	研修内容等	参加者
5月12日	主任介護支援専門員更新研修(~6/22 全7回)	1
6月19日	前橋刑務所・前橋地方検察庁見学会	1
10月18日	ケアマネジャースーパービジョン	3
9月20日	太田市地域包括支援センター介護支援専門員研修	2
1月26日	太田市地域包括支援センター介護支援専門員研修	2
2月5日	フレイル予防担当者研修会	1
3月15日	足利富士見台病院 認知症疾患医療センター研修会	1

・研修講師派遣

月日	研修内容等	人数
6月23日	第2回藪塚本町教育集会所学習会	2
9月6日	藪塚本町ボランティア協議会学習会	1
11月18日	太田市社会福祉協議会 市民後見人講座	1

● 実習生の受入

実習開始日	実習終了日	学校名	受入数
4月17日	5月23日	群馬社会福祉専門学校	1
5月23日	5月23日	太田高等看護学院	2
5月29日	8月15日	東京福祉大学	2
9月7日	9月7日	群馬県看護協会 認定看護管理者教育課程セカンドレベルⅡ	3
9月15日	9月15日	太田高等看護学院	2
2月22日	2月22日	東群馬看護専門学校	2
10月23日	10月24日	太田医療技術専門学校	2
2月26日	3月8日	東京福祉大学	1

● 地域活動への参加(後方支援含む)

月日	会場	内容	来場者
4月12日	10月11日	中原公民館 やぶづか憩いカフェ(認知症カフェ)	78
5月10日	11月8日		
6月14日	12月13日		
7月12日	1月10日		
8月9日	2月14日		
9月13日	3月13日		